



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社トリドールホールディングス
 (コード番号 3397 東証第一部)
 代表者名 代表取締役社長 栗田 貴也
 問合せ先 ファイナンス本部本部長 兼 財務部部長
 山口 聡
 電話番号 03-4221-8900

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年11月10日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2022年3月期通期連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	155,000	6,400	6,800	5,700	3,100	2,700	26.78
今回修正予想 (B)	155,000	6,400	11,300	10,200	5,800	5,400	57.96
増減額 (B-A)	-	-	4,500	4,500	2,700	2,700	
増減率 (%)	-	-	66.2%	78.9%	87.1%	100.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	134,760	△3,872	△7,336	△9,119	△5,419	△5,456	△67.71

2. 修正の理由

2022年3月期第3四半期連結累計期間につきましては、国内外で新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、国内は丸亀製麺などでテイクアウトを強化し、海外では雲南ヌードルや丸亀製麺ハワイ店の好調が寄与したことなどにより、売上収益と事業利益は前年同期を大幅に上回り、概ね計画通りに推移しております。

一方、営業利益については、新型コロナウイルス感染症に係る時短協力金などの政府補助金5,020百万円を当第3四半期連結会計期間に計上し、2021年11月10日付け通期連結業績予想に織り込んでいなかったことから、計画を大幅に上回ることとなりました。

これを受けて、第3四半期連結累計期間の実績に第4四半期連結会計期間の政府補助金と減損損失等の見通しを加味し、営業利益以下を上方修正することといたしました。この計画を達成した場合、当期純利益は過去最高の水準となります。

なお、売上収益と事業利益につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の影響等の見通しを算定することが困難であることから、計画を据え置くことといたします。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上